

## 5 無理やりに性交等をされた被害経験

### (1) 無理やりに性交等をされた被害経験の有無

これまでに、相手の性別を問わず、無理やり（暴力や脅迫を用いられたものに限らない）に性交等（性交、肛門性交又は口腔性交）をされたことがあるかを聞いたところ、「1人からあった」が3.2%、「2人以上からあった」が1.0%で、被害経験のある人は4.1%となっている。

性別にみると、被害経験のある女性は6.9%、男性は1.0%となっている。（図5-1-1）

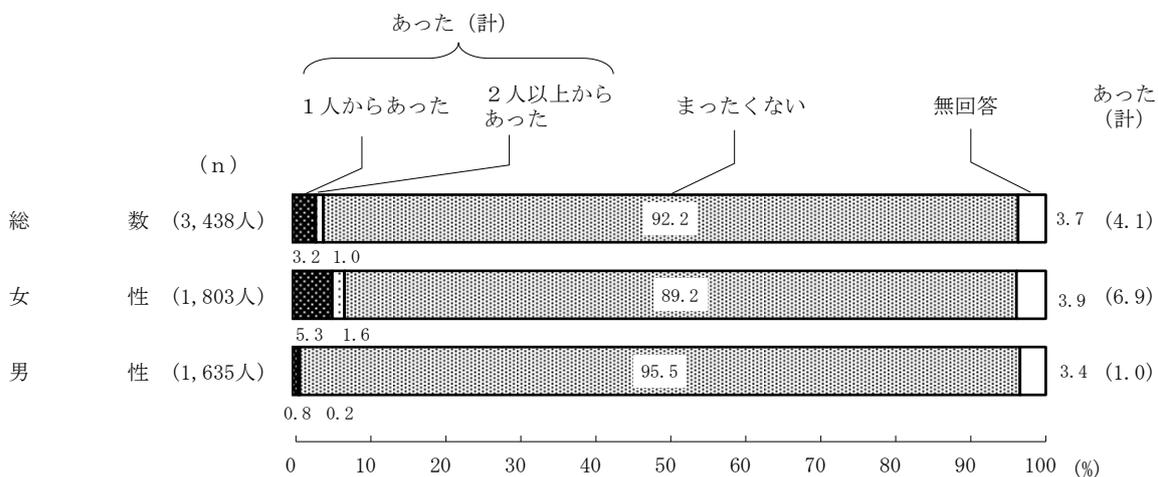
子供の頃も含めて、これまでの経験についてお聞きします。

問31 あなたはこれまでに、相手の性別を問わず、無理やり（暴力や脅迫を用いられたものに限ら

せん）に性交等（性交、肛門性交又は口腔性交）をされたことがありますか。

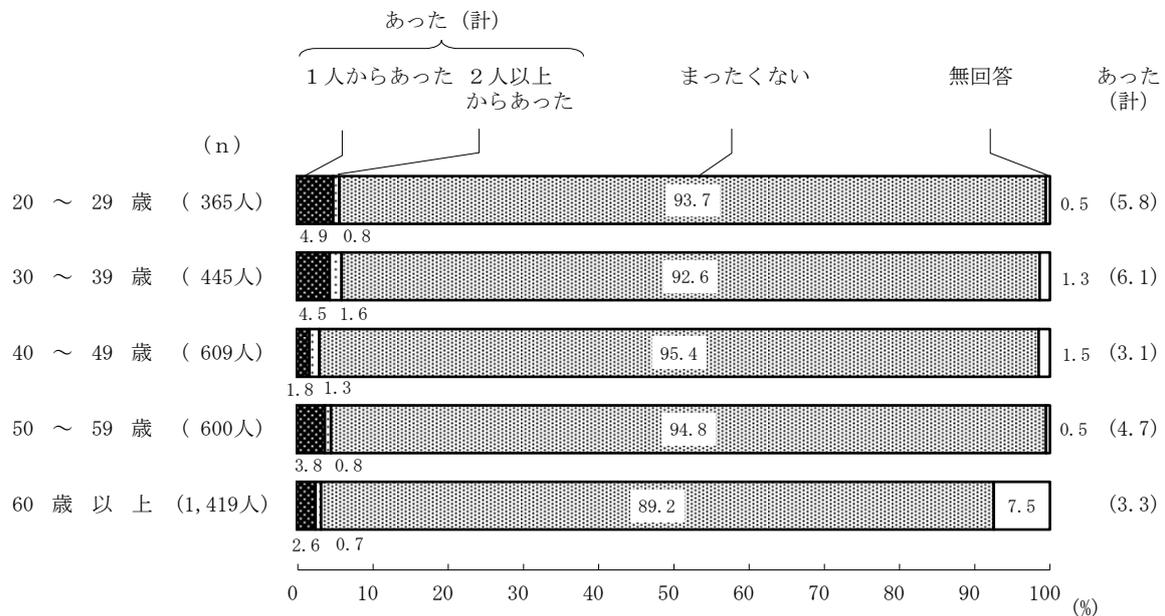
あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

図5-1-1 無理やりに性交等をされた被害経験の有無



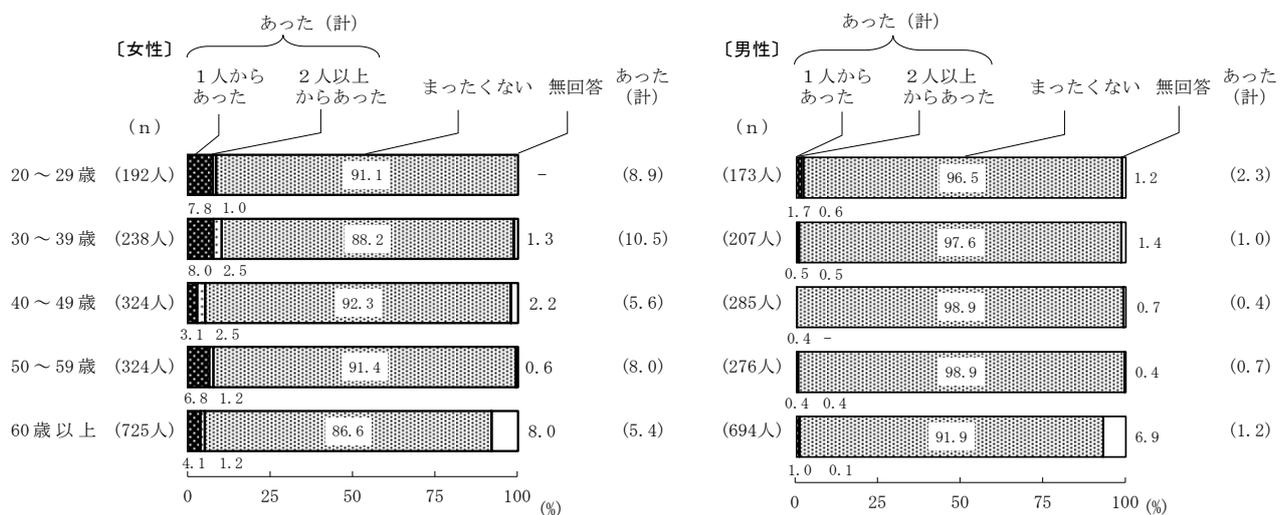
年齢階級別にみると、無理やりに性交等の被害が『あった』という人は、20～29歳から30～39歳で5.0%以上となっている。(図5-1-2)

図5-1-2 無理やりに性交等をされた被害経験の有無(年齢階級別)



性・年齢階級別にみると、無理やりに性交等の被害が『あった』という人は女性の30～39歳で10.5%と1割を超えている。(図5-1-3)

図5-1-3 無理やりに性交等をされた被害経験の有無(性・年齢階級別)



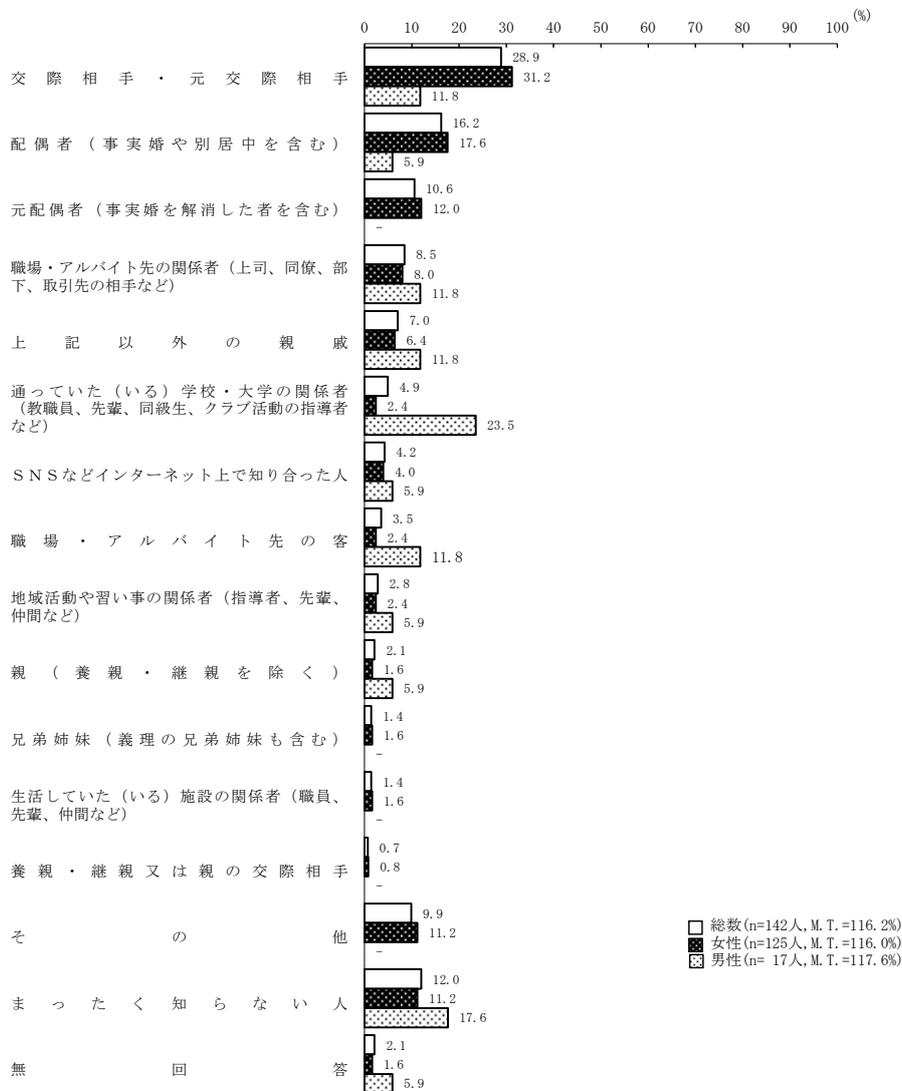
## (2) 加害者との関係

無理やりに性交等をされたことがあった人(142人)に、加害者との関係を聞いたところ、「交際相手・元交際相手」が28.9%と最も多く、次いで「配偶者(事実婚や別居中を含む)」(16.2%)、「元配偶者(事実婚を解消した者を含む)」(10.6%)などとなっている。

性別に見ると、女性では「交際相手・元交際相手」が31.2%で最も多く、男性では「通っていた(いる)学校・大学の関係者(教職員、先輩、同級生、クラブ活動の指導者など)」が23.5%で最も多くなっている。(図5-2-1)

問32 加害者はあなたとどのような関係でしたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。2人以上から被害にあった方については、すべての被害についてお答えください。(○はいくつでも)

図5-2-1 加害者との関係(複数回答)



\* 「上記以外の親戚」とは、下記以外の親戚を指す。

1. 配偶者(事実婚や別居中を含む)
2. 元配偶者(事実婚を解消した者を含む)
3. 親(養親・継親を除く)
4. 養親・継親又は親の交際相手
5. 兄弟姉妹(義理の兄弟姉妹も含む)

また、加害者の性別を聞いたところ、「異性」が93.7%、「同性」が7.0%となっている。(表5-2-1)

問 32-1 また、加害者の性別はどちらでしたか。  
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

表 5-2-1 加害者の性別（複数回答）

(無理やりに性交等をされた被害を受けたことがある人) (%)

	総数	女	男
n	142	125	17
異性	93.7	99.2	52.9
同性	7.0	0.8	52.9
無回答	0.7	0.8	-
延回答 (計)	101.4	100.8	105.9

加害者との関係を加害者の性別でみると、「配偶者（事実婚や別居中を含む）」、「養親・継親又は親の交際相手」、「兄弟姉妹（義理の兄弟姉妹も含む）」、「生活していた（いる）施設の関係者（職員、先輩、仲間など）」、「その他」以外では「同性」からの被害もある。(表5-2-2)

表 5-2-2 加害者の性別（加害者との関係・複数回答）

(無理やりに性交等をされた被害を受けたことがある人)

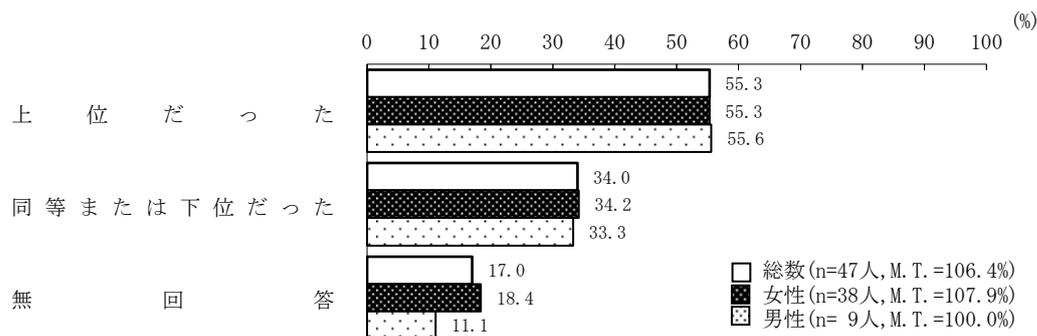
(%)

	総数	異性	同性	無回答	延回答 (計)
n	142	93.7	7.0	0.7	101.4
配偶者（事実婚や別居中を含む）	23	100.0	-	-	100.0
元配偶者（事実婚を解消した者を含む）	15	100.0	6.7	-	106.7
親（養親・継親を除く）	3	100.0	33.3	-	133.3
養親・継親又は親の交際相手	1	100.0	-	-	100.0
兄弟姉妹（義理の兄弟姉妹も含む）	2	100.0	-	-	100.0
上記以外の親戚	10	90.0	20.0	-	110.0
交際相手・元交際相手	41	100.0	2.4	-	102.4
職場・アルバイト先の関係者（上司、同僚、部下、取引先の相手など）	12	83.3	25.0	-	108.3
職場・アルバイト先の客	5	80.0	20.0	-	100.0
通っていた（いる）学校・大学の関係者 （教職員、先輩、同級生、クラブ活動の指導者など）	7	85.7	28.6	-	114.3
地域活動や習い事の関係者（指導者、先輩、仲間など）	4	100.0	25.0	-	125.0
生活していた（いる）施設の関係者（職員、先輩、仲間など）	2	100.0	-	-	100.0
SNSなどインターネット上で知り合った人	6	83.3	16.7	-	100.0
その他	14	100.0	-	-	100.0
まったく知らない人	17	88.2	11.8	-	100.0

加害者が親族や交際相手以外だった人（47人）に加害者の立場について聞いたところ、「上位だった」が55.3%となっている。また、男女での差は見られない。（図5-2-2）

問32-2 加害者は自分よりも社会的な地位、職務上の地位、その他人間関係などにおいて上位な立場にある者（職場・アルバイト先の上司や先輩、取引先の相手、学校・大学の教職員や先輩、クラブ活動や習い事の指導者や先輩など関係が優位な立場にある者）でしたか。（○はいくつでも）

図5-2-2 加害者との上下関係（複数回答）

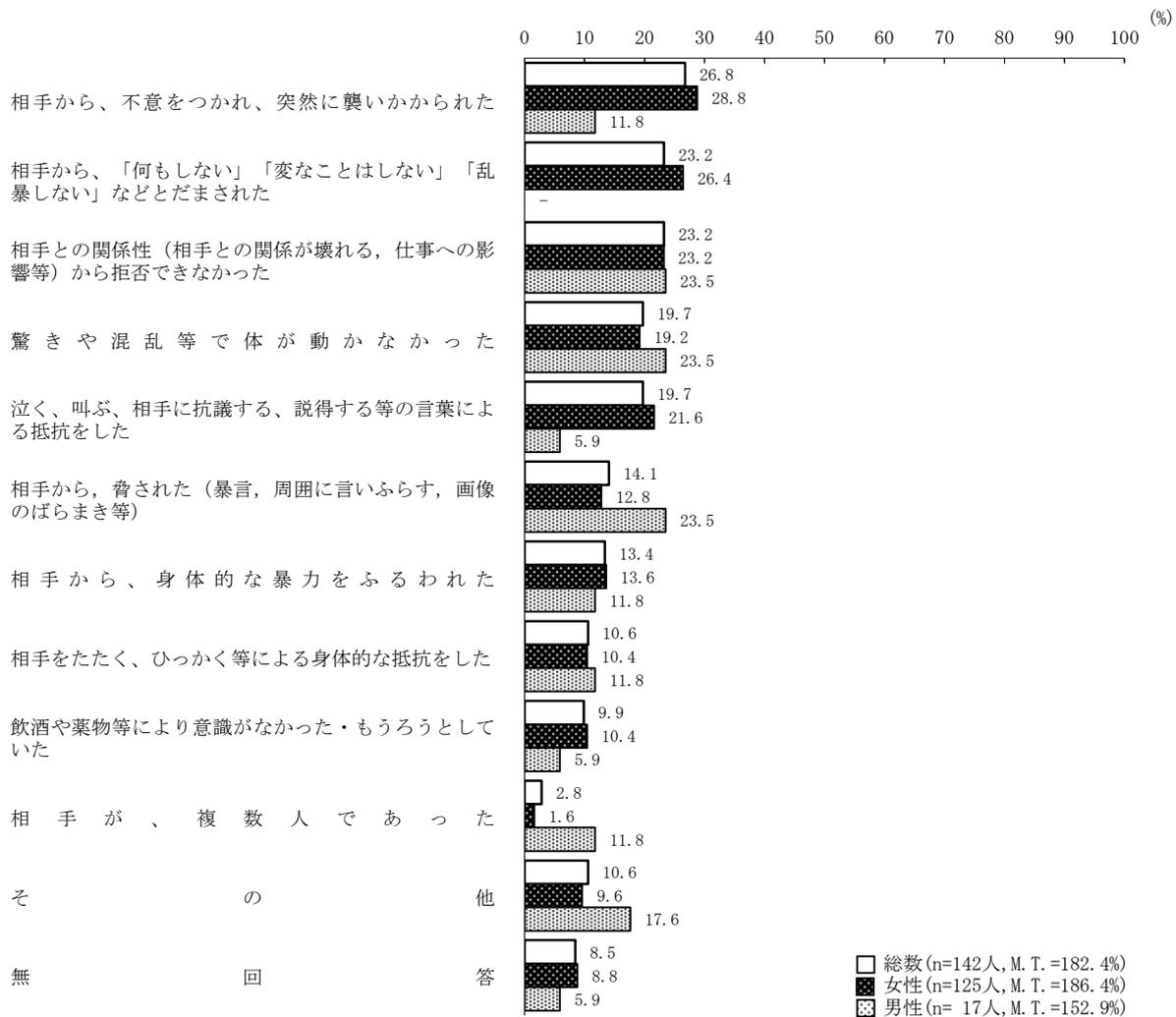


### (3) 被害にあったときの状況

無理やりに性交等をされたことがあった人（142人）に、被害にあったときの状況について聞いたところ、「相手から、不意をつかれ、突然に襲いかかられた」が26.8%と最も多く、次いで『相手から、「何もしない」「変なことはしない」「乱暴しない」などとだまされた』、「相手との関係性（相手との関係が壊れる、仕事への影響等）から拒否できなかった」（23.2%）となっている。（図5-3-1）

問33 被害にあったときの状況について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

図5-3-1 被害にあったときの状況（複数回答）

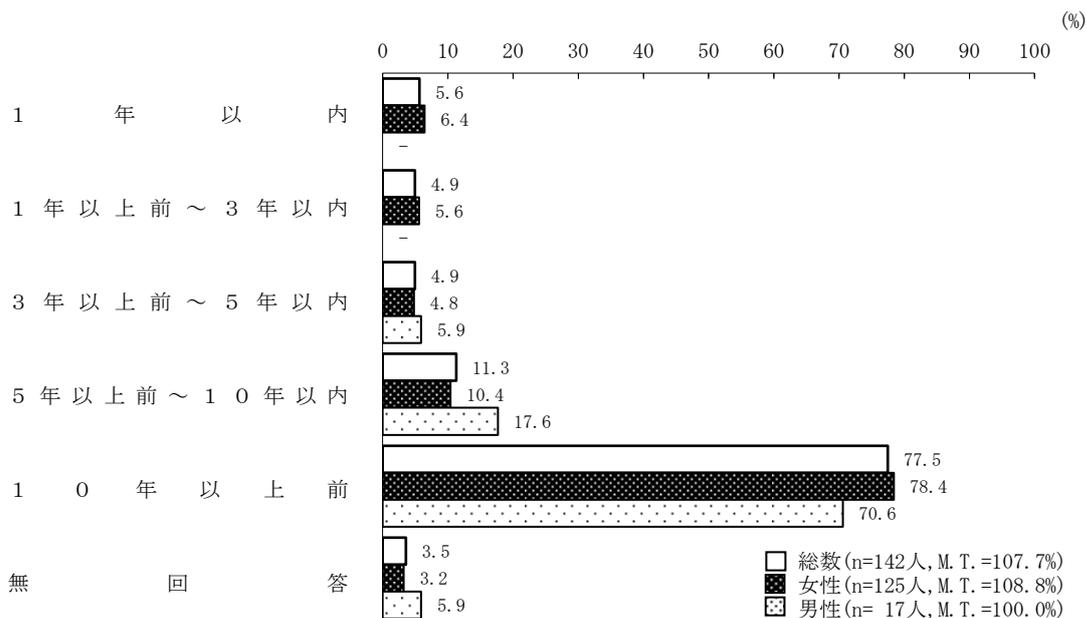


#### (4) 被害にあった時期

無理やりに性交等をされたことがあった人（142人）に、その被害にあったのは何年前か聞いたところ、「10年以上前」が77.5%と最も多く、次いで「5年以上前～10年以内」（11.3%）、「1年以内」（5.6%）、「1年以上前～3年以内」、「3年以上前～5年以内」（4.9%）となっている。（図5-4-1）

問34 あなたが被害にあったのは何年前ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。  
 （○はいくつでも）

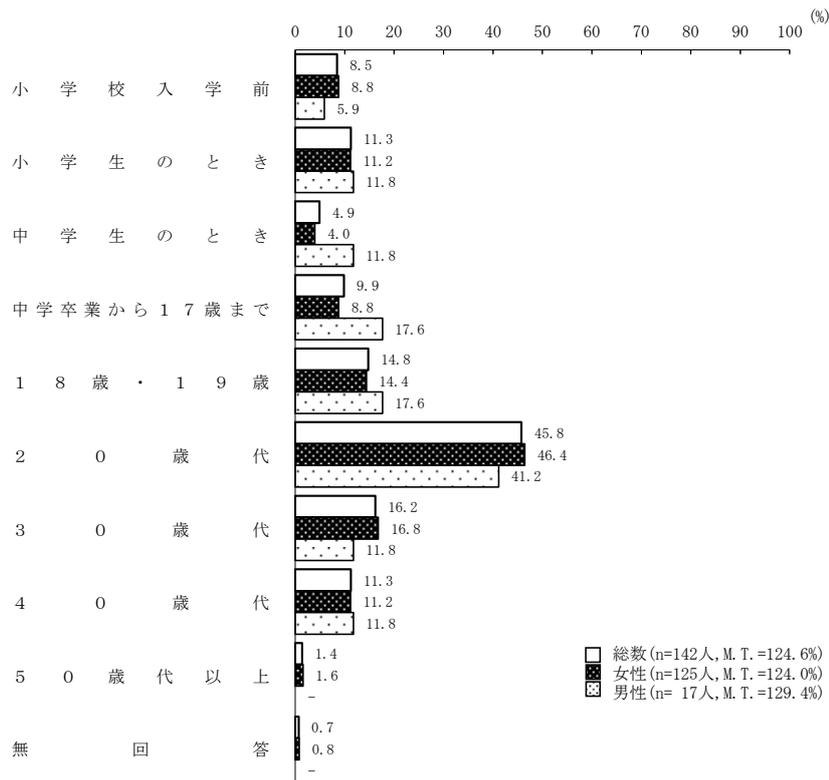
図5-4-1 被害にあった時期（何年前・複数回答）



また、被害にあったのはいくつのときか聞いたところ、「20 歳代」が 45.8%と最も多く、次いで「30 歳代」(16.2%)、「18 歳・19 歳」(14.8%)、「小学生のとき」、「40 歳代」(11.3%) などとなっている。  
(図 5-4-2)

問 34-1 また、被害にあったのはあなたがいくつのときでしたか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

図 5-4-2 被害にあった時期 (年齢・複数回答)



18 歳未満のときに被害にあった人 (41 人) に、その加害者は監護する者 (例：父母等のあなたを監督し保護する者) か聞いたところ、「監護する者」が 12.2%、「監護する者以外」が 82.9%となっている。(表 5-4-1)

問 34-2 あなたが18歳未満のときにあった被害について、その加害者はあなたを監護する者 (例：父母等のあなたを監督し保護する者) でしたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

表 5-4-1 監護者からの被害経験 (複数回答)

被害経験	(18歳未満のとき被害があった人) (%)		
	総数	女	男
n	41	35	6
監護する者	12.2	8.6	33.3
監護する者以外	82.9	85.7	66.7
無回答	7.3	8.6	-
延回答数 (計)	102.4	102.9	100.0

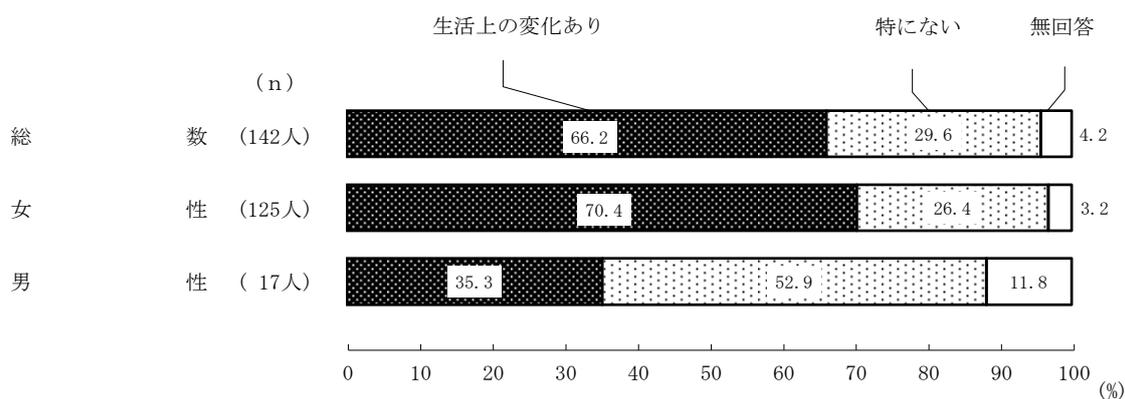
### (5) 生活上の変化

無理やりに性交等をされた被害があった人（142人）に、その被害による生活上の変化を聞き、何らかの変化があったと回答した人を『生活上の変化あり』としてまとめた。

『生活上の変化あり』は、66.2%で、女性が70.4%、男性が35.3%となっている。（図5-5-1）

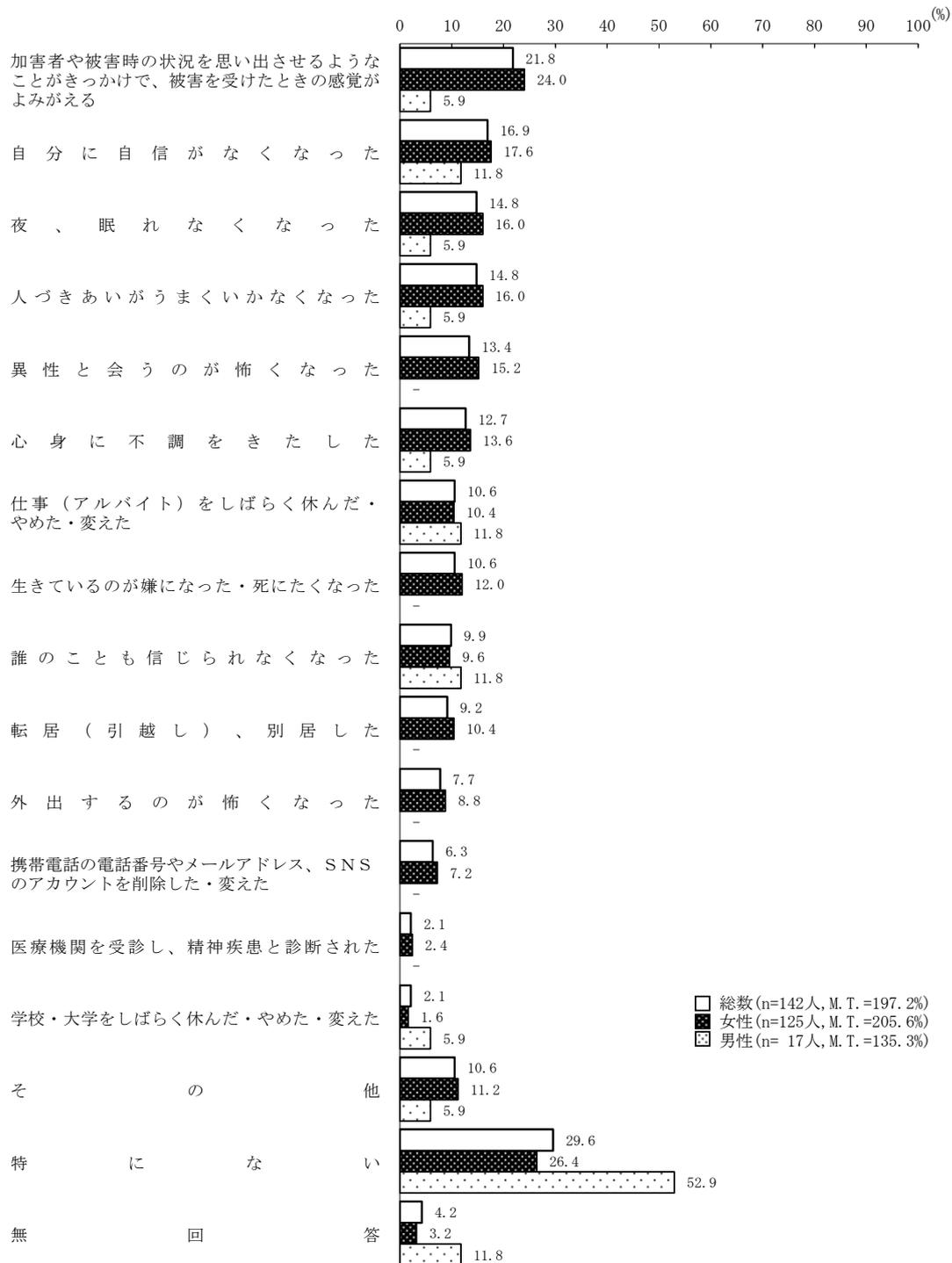
問35 あなたは、これまでの被害によって、生活が変わりましたか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図5-5-1 無理やりに性交等をされた被害による生活上の変化の有無



生活上の変化の内容をみると、「加害者や被害時の状況を思い出させるようなことがきっかけで、被害を受けたときの感覚がよみがえる」(21.8%)が最も多く、次いで「自分に自信がなくなった」(16.9%)、「夜、眠れなくなった」、「人づきあいがうまくいかなかった」(14.8%)などとなっている。(図 5-5-2)

図 5-5-2 無理やりに性交等をされた被害による生活上の変化（複数回答）



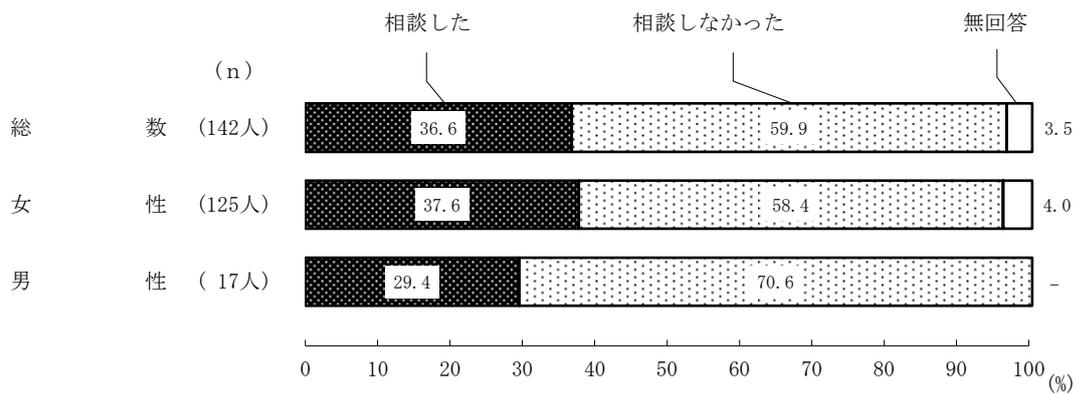
### (6) 無理やりに性交等をされた被害の相談経験

無理やりに性交等をされた被害があった人（142人）に、その被害について、だれかに打ち明けたり、相談したりしたかを聞き、いずれかの相談先を回答した人の合計を『相談した』としてまとめた。

『相談した』が36.6%で、女性が37.6%、男性が29.4%となっている。（図5-6-1）

問36 あなたはこれまでの被害について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

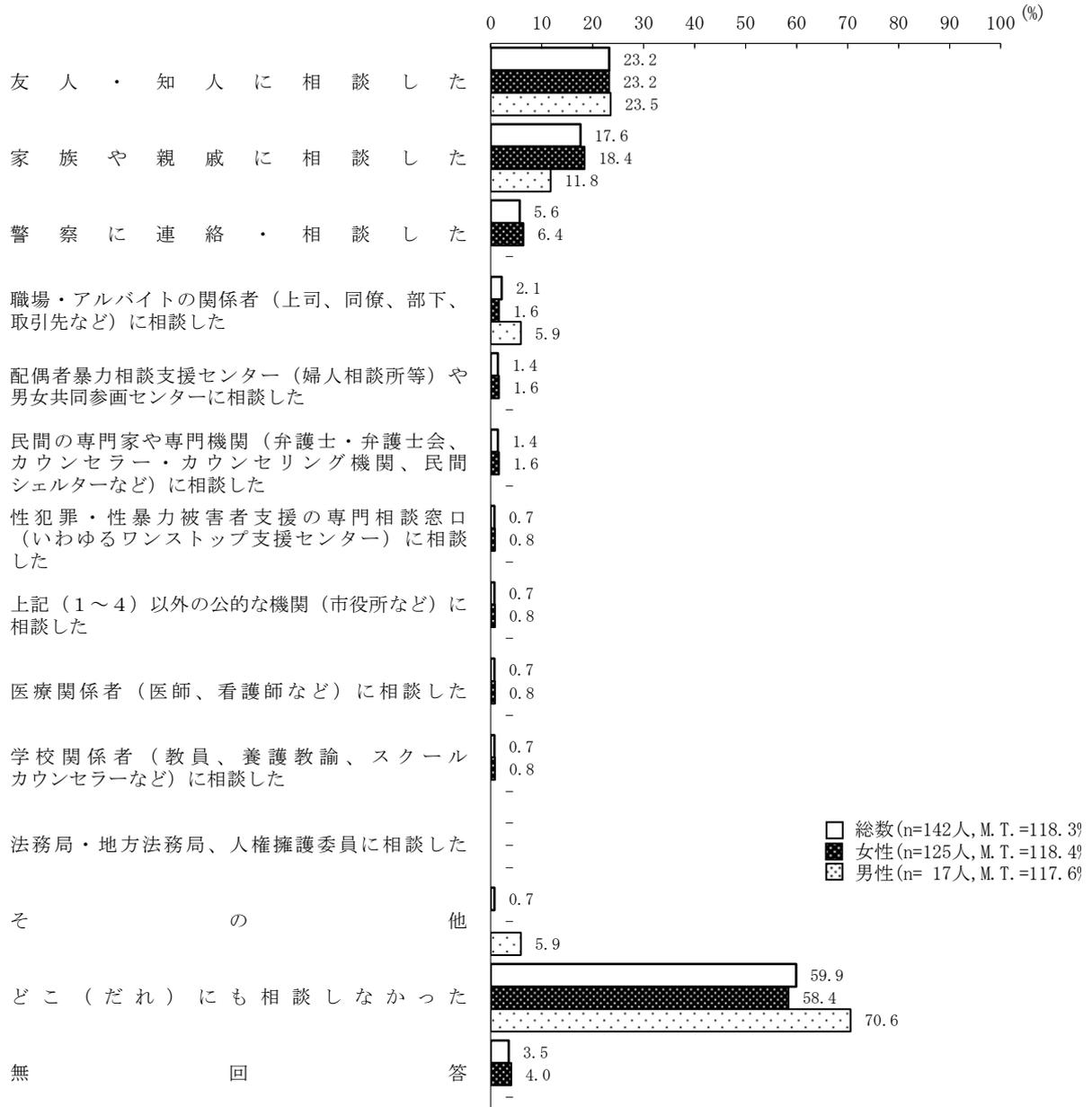
図5-6-1 無理やりに性交等をされた被害の相談の有無



相談先をみると、「友人・知人に相談した」が 23.2%と最も多く、次いで「家族や親戚に相談した」(17.6%) などとなっている。また、「どこ（だれ）にも相談しなかった」が 59.9%となっている。

(図 5-6-2)

図 5-6-2 無理やりに性交等をされた被害の相談先（複数回答）



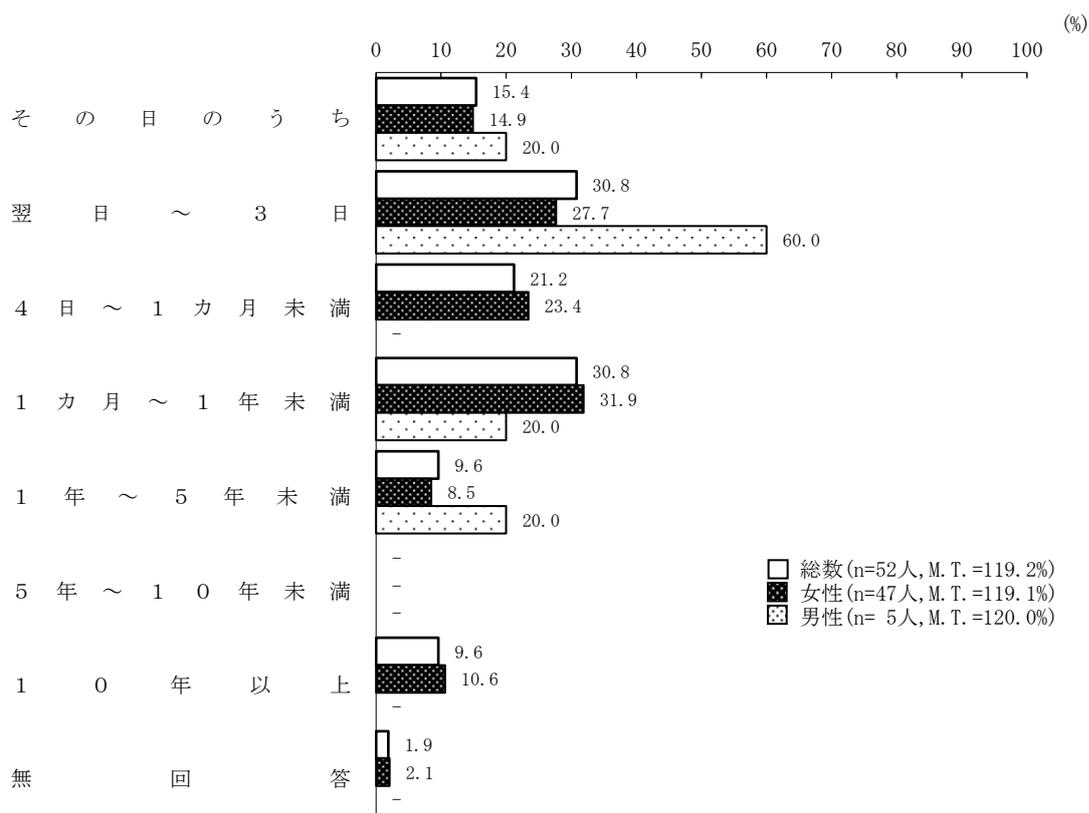
\* 「上記（1～4）以外の公的な機関」とは、下記以外の公的な機関を指す。

1. 性犯罪・性暴力被害者支援の専門相談窓口（いわゆるワンストップ支援センター）
2. 配偶者暴力相談支援センター（婦人相談所等）や男女共同参画センター
3. 警察
4. 法務局・地方法務局、人権擁護委員

無理やりに性交等をされた被害をだれかに打ち明けたり、相談したりした人（52人）に、被害にあっ  
てから相談したりするまでの期間について聞いたところ、「翌日～3日」、「1カ月～1年未満」が  
30.8%と最も多く、次いで「4日～1カ月未満」（21.2%）となっている。（図5-6-3）

問 36-1 被害にあってから、だれかに打ち明けたり、相談したりするまでの期間はだいたいどれくらい  
でしたか。これまでの被害について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

図 5-6-3 被害にあってから相談までの期間（複数回答）



### (7) 相談しなかった理由

無理やりに性交等をされた被害について、「どこ（だれ）にも相談しなかった」という人（85人）に、相談しなかった理由を聞いたところ、「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」が43.5%と最も多く、次いで「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」（32.9%）、「そのことについて思い出したくなかったから」（21.2%）などとなっている。（図5-7-1）

問 37 どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図5-7-1 相談しなかった理由（複数回答）

